

『失われた時を求めて』4 花咲く乙女たちのかけに II おもな登場人物

私

主人公、語り手。裕福なブルジョワ家庭に生まれる。本巻では、避暑地、バルベックでの数ヶ月の滞在が語られる。語り手に同行し、バルベックで夏のひとときを過ごす。

祖母

祖母の友人でゲルマント公爵夫人の叔母。家柄が自慢。ゲルマント家の貴公子。女優の愛人がいる。

サンルー侯爵

シャルリュス男爵

ゲルマント公爵夫人のいとこ。卓越した審美眼の持ち主。長身ですらりとした優美な妃殿下。語り手に親切にする。

リュクサンブール大公妃

バルベックで語り手が出会った魅力的な少女たちの一人。孤児。自転車に乗りゴルフもする活発な娘。語り手に深く関わっていく。

アルベルチヌの友人で裕福な家柄。繊細で知的。

アルベルチヌの友人。資格取得試験の作文で「優」をとる。

高名な画家で端正な顔立ち。その才能で語り手を魅了する。

語り手の学友。ユダヤ人の青年だが、ユダヤ人に対して侮蔑的。

実際には知らない有名な人の知り合いを装うのが十八番。

語り手が滞在するグランドホテルの給仕長。気が利く。

語り手一家に仕える女中。すばらしい料理の腕前を持つ。

DIC
142p

DIC
212p

アルベルチヌ

アルベルチヌの友人で裕福な家柄。繊細で知的。

アルベルチヌの友人。資格取得試験の作文で「優」をとる。

高名な画家で端正な顔立ち。その才能で語り手を魅了する。

語り手の学友。ユダヤ人の青年だが、ユダヤ人に対して侮蔑的。

実際には知らない有名な人の知り合いを装うのが十八番。

語り手が滞在するグランドホテルの給仕長。気が利く。

語り手一家に仕える女中。すばらしい料理の腕前を持つ。

DIC
142p

DIC
212p